

# 母船式木流システムまとめ～国産材安定供給のために～

国産材の安定供給を進める方法としては、大規模工場を1つ新設する、という手法もありますが中小工場を連携させた母船式木流システムは、それとは対照的な取組として注目され、様々な形で取り上げていただいております（※）。

- ※参考資料 H21.7 持続可能な森林経営研究会第16回セミナー  
「大型加工工場は国際競争力を持ち得たか。中小加工工場はどのように対応すべきか。」  
H21.9 森林技術 持続可能な森林経営研究会レポート①  
H21.9 ウッディエイジ 森林・林業・木材産業の再生を目指して(3)  
H21.4 森林異変 日本の林業に未来はあるか p88  
H26.6 農村計画学会誌Vol.33, No.1 スマートコミュニティ構想と山林価値  
H30.9 森林総合研究所研究報告 育林経営再編の諸相-林業ビジネス化への示唆-

森林・林業・木材産業分野の政策に広く国民の声を反映させるため林野庁が設置する「林政審議会」でも、平成23年3月1日開催時の資料4「今後の木材産業や木材利用の在り方について」において、下記のとおり、トーセンの母船式木流システムが「水平連携タイプ」と称され、国産材の安定供給に資する取組として紹介いただきました。

## ○ 大規模型(水平連携タイプ)

- ・株式会社Tは、中核工場と地域の提携工場とが連携することにより、大規模化を図り、スケールメリットを發揮。
- ・中核工場で、乾燥・仕上げ等品質管理と在庫管理により、品質の安定した製品を大手住宅メーカー等に安定供給。提携工場は、1次加工に特化し、生産性の向上と中核工場への安定供給を実現。

